

基礎数学 A1	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

●最終的な答えだけを書くのではなく、途中の計算や説明も簡潔に書くこと。そうでない場合は大きく減点する。

① 次の式を展開せよ。

$$(x^2 - xy - y^2)(x^2 + xy - y^2) = x^4 - 3x^2y^2 + y^4$$

② 次の各式を因数分解せよ。

a) $54x^3 - 2 = 2(3x - 1)(9x^2 + 3x + 1)$

b) $a^2 - \frac{10}{3}ab + b^2 = \frac{1}{3}(a - 3b)(3a - b)$

③ $P(x) = x^3 - 8$, $Q(x) = x^3 - x^2 - 2x - 12$ とする。

a) $P(x)$ を因数分解せよ。

$$P(x) = (x - 2)(x^2 + 2x + 4)$$

b) $Q(3)$ を求めよ

$$Q(3) = 27 - 9 - 6 - 12 = 0$$

c) $Q(x)$ を因数分解せよ。

$$Q(x) = (x - 3)(x^2 + 2x + 4)$$

d) $P(x)$ と $Q(x)$ の最大公約数、および最小公倍数を求めよ。

$$\text{最大公約数} = x^2 + 2x + 4$$

$$\text{最小公倍数} = (x - 3)(x - 2)(x^2 + 2x + 4)$$

④ a) 次の除法を行い、商と余りを求めよ。

$$2x^2 - x - 1 \overline{) x^4 - x^3 + x^2 - 1}$$

$$\text{商} = \frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{4}x + \frac{5}{8} \quad \text{余り} = \frac{3}{8}x - \frac{3}{8}$$

b) 上の結果を利用して次の分数式を、整式と分子が分母より低次の分数式との和の形に表せ。

$$\frac{x^4 - x^3 + x^2 - 1}{2x^2 - x - 1} = \frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{4}x + \frac{5}{8} + \frac{\frac{3}{8}x - \frac{3}{8}}{2x^2 - x - 1}$$

⑤ 次の各々の式をできるだけ簡単にせよ。

a) $\frac{6abc}{\frac{3b^2c}{4a}} = \frac{8a^2}{b}$

b) $\frac{4\frac{a}{bc}}{6\left(\frac{a}{bc}\right)^2 - 2\frac{a}{bc}} = \frac{2bc}{3a - bc}$

c) $\frac{3x + y}{x^2 - xy - 6y^2} - \frac{x - y}{x^2 - 5xy + 6y^2}$
 $= \frac{2x}{(x - 2y)(x + 2y)}$

d) $\frac{a^3 - b^3}{(a + b)^2} \div \frac{a^3 + a^2b + ab^2}{a^2 + 2ab + b^2} \times \frac{a^2b - ab^2}{a^2b - b^3}$
 $= \frac{a - b}{a + b}$

e) $\frac{h}{\frac{1}{a+h} - \frac{1}{a}} = -a(a + h)$

⑥ 次の不等式を解け。またその解を数直線上に表せ。

a) $\begin{cases} 2x^2 - x - 3 \geq 0 \\ \frac{2x - 1}{3} > \frac{3x - 2}{4} \end{cases}$

$$2x^2 - x - 3 \geq 0 \Leftrightarrow (2x - 3)(x + 1) \geq 0 \Leftrightarrow x \leq -1 \text{ または } x \geq \frac{3}{2}$$

$$\frac{2x - 1}{3} > \frac{3x - 2}{4} \Leftrightarrow 8x - 4 > 9x - 6 \Leftrightarrow x < 2$$

$$x \leq -1 \text{ または } \frac{3}{2} \leq x < 2$$

b) $|3x - 2| \geq 4$

$$|3x - 2| \geq 4 \Leftrightarrow 3x - 2 \leq -4 \text{ または } 3x - 2 \geq 4$$

$$x \leq -\frac{2}{3} \text{ または } x \geq 2$$

7 a) 放物線 $y = -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1$ は、放物線 $y = -\frac{1}{2}x^2$ をどのように平行移動したものかを述べよ。

$y = -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1 = -\frac{1}{2}(x-3)^2 + \frac{7}{2}$ だから、
放物線 $y = -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1$ は、放物線 $y = -\frac{1}{2}x^2$ を
 x 軸方向に $+3$ 、 y 軸方向に $+\frac{7}{2}$ だけ平行移動したもの。

b) 2次関数 $y = -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1$ の $0 \leq x \leq 4$ における最大値、最小値を求めよ。

最大値： $\frac{7}{2}$ ($x = 3$)

最小値： -1 ($x = 0$)

8 2次方程式 $\frac{x^2}{6} - \frac{x}{3} + \frac{1}{4} = 0$ を解け。

$$\frac{x^2}{6} - \frac{x}{3} + \frac{1}{4} = 0 \Leftrightarrow 2x^2 - 4x + 3 = 0$$

$$x = \frac{2 \pm \sqrt{2^2 - 2 \cdot 3}}{2} = \frac{2 \pm \sqrt{2}i}{2}$$

9 周囲の長さ 24cm の長方形において、短い方の辺の長さを x とする。

a) 長い方の辺の長さを x で表せ。長い方の辺の長さが、短い方の辺の長さよりも大きいという条件を考慮して、 x の取り得る範囲を求めよ。

$$\text{長い方の辺の長さ} = \frac{1}{2}(24 - 2x) = 12 - x.$$

どちらの辺の長さも正数でなければならないから、 $x > 0$ 、 $12 - x > 0$ 。

さらに、短い辺の長さ $<$ 長い辺の長さより、 $x < 12 - x \Leftrightarrow x < 6$ 。

以上より、 $0 < x < 6$

b) この長方形の面積が 25 cm^2 以上 30 cm^2 未満であるようにするには、長方形の短い方の辺の長さをどのようにすればよいか。

$25 \leq x(12 - x) < 30$ を解く。

$$x^2 - 12x + 25 \leq 0 \Leftrightarrow 6 - \sqrt{11} \leq x \leq 6 + \sqrt{11}$$

$$x^2 - 12x + 30 > 0 \Leftrightarrow 6 - \sqrt{6} < x \text{ または } x > 6 + \sqrt{6}$$

$$0 < x < 6 \text{ と合わせて、 } 6 - \sqrt{11} \leq x < 6 - \sqrt{6}$$

10 1杯の原価が 100 円のカフェラテを、1杯 320 円で売ると、毎日 120 杯の売り上げがある。もし値上げをすれば、1杯 10 円の値上げにつき 5 杯の割合で、売り上げが減少するという。利益を最大にするには、1杯いくらで販売すればよいか。

x 円値上げするとする。このとき、売り上げは $120 - \frac{1}{2}x$ 杯になるので、

$$\text{利益} = (320 + x - 100) \left(120 - \frac{1}{2}x\right)$$

$$= -\frac{1}{2}(x - 10)^2 + 26450$$

したがって、10 円値上げしたとき、すなわち、

売値が 330 円のととき利益が最大になる。

11 次の各々の式を簡単にせよ。ただし、 a 、 b は正の定数とする。

a) $\sqrt[3]{-\sqrt{a^6}} = -a$

b) $\sqrt{ab^3} \div \sqrt[6]{ab^5} \times \sqrt[3]{a^2b} = ab$

c) $\frac{a^{\frac{1}{2}} \div a^{\frac{3}{4}}}{a^{\frac{1}{6}} \div a^{\frac{2}{3}}} = a^{\frac{1}{4}}$

d) $\log_{\sqrt{2}} 8 = 6$

e) $a^{2 \log_a 3} = 9$

f) $\frac{1}{2} \log_{10} 6 + \log_{10} \sqrt{3} - \log_{10} \sqrt{18} = 0$

g) $\log_3(4 + \sqrt{7}) + \log_3(4 - \sqrt{7}) = 2$

12 $\sqrt{2}$ 、 $\sqrt[3]{3}$ 、 $\sqrt[5]{5}$ を小さいものから順に並べよ。

$$(\sqrt{2})^6 = 2^3 = 8, (\sqrt[3]{3})^6 = 3^2 = 9 \text{ より、 } \sqrt{2} < \sqrt[3]{3}$$

$$(\sqrt{2})^{10} = 2^5 = 32, (\sqrt[5]{5})^{10} = 5^2 = 25 \text{ より、 } \sqrt[5]{5} < \sqrt{2}.$$

$$\text{以上より、 } \sqrt[5]{5} < \sqrt{2} < \sqrt[3]{3}$$

13 あるお店では売り尽くしセールとして、その日に売れなかった商品を次の日にさらに 20%OFF で売ることにした。商品の値段が元の $\frac{1}{10}$ 以下になるのは何日売れ残ったときか。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ として答えよ。

$$\left(\frac{8}{10}\right)^n \leq \frac{1}{10} \text{ を解く.}$$

両辺の \log_{10} をとって、

$$\log_{10} \left(\frac{8}{10}\right)^n < \log_{10} \frac{1}{10}$$

$$\Leftrightarrow n(3 \log_{10} 2 - 1) < -1$$

$$\Leftrightarrow n(3 \times 0.3010 - 1) < -1$$

$$\Leftrightarrow -0.09691n < -1$$

$$n > \Leftrightarrow 10.3189$$

よって、11 日売れ残ったとき。

基礎数学 A1	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

14 次の極限値を求めよ.

a) $\lim_{x \rightarrow -1} \frac{x^3 + 1}{x^2 - 2x - 3} = \lim_{x \rightarrow -1} \frac{(x^2 - x + 1)}{(x - 3)} = -\frac{3}{4}$

b) $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{1}{1 + \frac{x}{1-x}} = \lim_{x \rightarrow 1} (1 - x) = 0$

15 関数 $f(x) = (3x + 2)^2$ について, 以下の問いに答えよ.

a) $x = -1$ から $x = -1 + h$ まで変化したときの $f(x)$ の平均変化率をなるべく簡単な形で表せ.

$$\frac{f(-1+h) - f(-1)}{h} = \frac{(-1+3h)^2 - 1}{h} = -6 + 9h$$

b) $f(x)$ の $x = -1$ における微分係数 $f'(-1)$ を a) で求めた平均変化率の極限として求めよ.

$$f'(-1) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(-1+h) - f(-1)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} (-6 + 9h) = -6$$

16 $f(x) = -\frac{1}{2}x^3 - \frac{1}{2}x^2 + \frac{5}{2}x + 1$ とする. 以下の問いに答えよ.

a) x が -1 から 1 まで変化したときの平均変化率を求めよ.

$$\frac{f(1) - f(-1)}{1 - (-1)} = 2$$

b) $f(x)$ の導関数を求めよ. (定義に従って計算する必要はない.)

$$f'(x) = -\frac{3}{2}x^2 - x + \frac{5}{2}$$

c) $f'(x) = 0$ となる x を求めよ.

$$f'(x) = -\frac{3}{2}x^2 - x + \frac{5}{2} = -\frac{1}{2}(3x+5)(x-1) = 0 \text{ より,}$$

$$x = -\frac{5}{3}, x = 1.$$

d) $f'(x) > 0$ となる x の範囲を求めよ.

$$f'(x) = -\frac{1}{2}(3x+5)(x-1) > 0 \text{ より,}$$

$$-\frac{5}{3} < x < 1.$$

e) $f(x)$ の増減表を完成させ, $f(x)$ の極大値および極小値を求めよ.

x	...	$-\frac{5}{3}$...	1	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	\searrow	$-\frac{121}{54}$	\nearrow	$\frac{5}{2}$	\searrow

$$\text{極大値} = \frac{5}{2}$$

$$\text{極小値} = -\frac{121}{54}$$

f) $f(-4), f(-3), f(-2), f(-1), f(0), f(1), f(2), f(3)$ をそれぞれ求めよ.

$$f(-4) = 15$$

$$f(0) = 1$$

$$f(-3) = \frac{5}{2}$$

$$f(1) = \frac{5}{2}$$

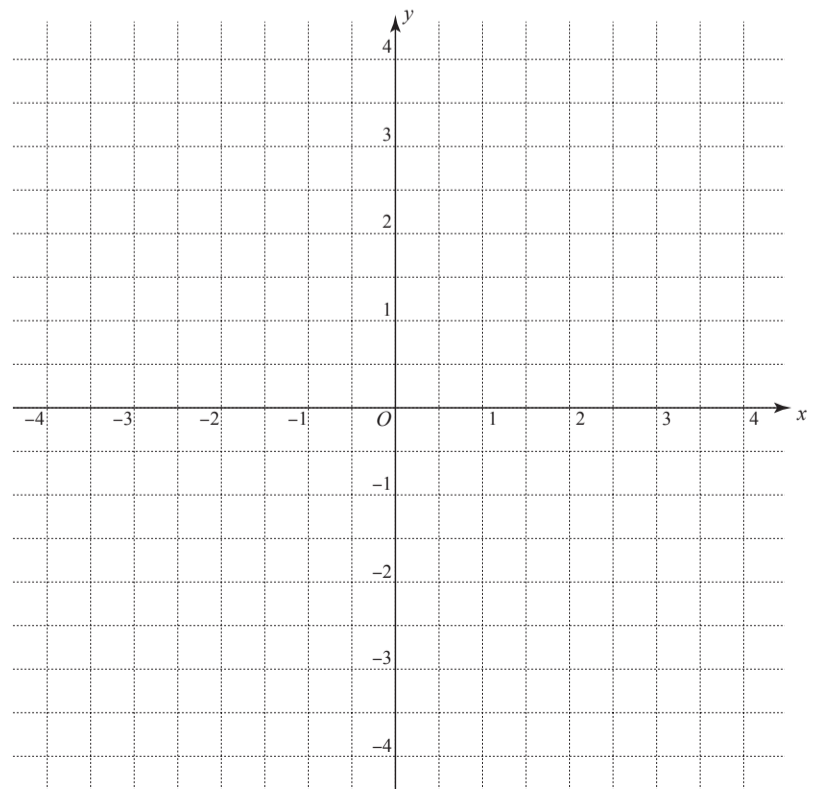
$$f(-2) = -2$$

$$f(2) = 0$$

$$f(-1) = -\frac{3}{2}$$

$$f(3) = -\frac{19}{2}$$

g) ここまでの結果を反映させ, $y = f(x)$ のグラフと, $(2, f(2))$ における接線をのグラフをなるべく丁寧に描け.



【解答用紙が足りなければこの部分も使用して下さい】